

おおむた 市議会だより

第217号

令和3年度
臨時会・6月議会

令和3年(2021年)8月15日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



議会構成も新たに出発進行！
(6月19日 JR大牟田駅を出発するSL人吉号)

【主な記事】

◎新体制スタート／ぎかいの話題(2ページ)

◎市民に開かれた市議会を目指して・市議会の役割と仕組みを紹介します

／ぎかいの話題(3ページ)

◎三川坑でセグウェイゴーカートに乗ってみよう／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

新体制スタート

市議会第1回臨時会を5月21日に開催し、各常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の新たな構成を決めました。

また、境公司前議長及び大野哲也前副議長の辞職に伴う正副議長選挙を行い、光田茂議長、森田義孝副議長を選出しました。

これからの約2年間、この新たな体制で議会活動を行っていきます。



光田 茂
議長

第38代大牟田市議会議長に選任されました光田茂です。

コロナ禍という危機的状況への対応に加え、令和2年7月豪雨からの復旧・復興という重大な時期での議長就任に責任の重さを痛感しております。

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」を座右の銘に、市民の皆様の声に耳を傾けながら、郷土大牟田のために頑張ってまいります。



森田 義孝
副議長

第44代大牟田市議会副議長に就任させていただきました。大牟田市政の課題は山積していますが、二元代表制の一役を担う市議会の位置付けと役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。

また、光田議長を補佐し、議会の円滑な運営と市民生活の向上と安全・安心のまちづくりに向けて、議員24名の英知と力を合わせて、市民の皆様のご期待に応えられるように頑張ります。

委員会のメンバー構成及び所管事項 ～委員会は2回にわたって紹介します～

今回は、大牟田市議会では3つある常任委員会を紹介します。

議案をはじめ行政の取組は、内容が多岐にわたり、複雑・多様化しているため、常任委員会において、専門的に詳しく審査・調査しています。議員は全員、いずれかの常任委員会に所属します。



総務委員会

【委員長】松尾哲也
【副委員長】中原誠悟
境公司、徳永春男、森遵、平山伸二、森田義孝、北岡あや

防災危機管理室、企画総務部、会計課、市民部、消防本部、市議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局の所管に関する事項の審査・調査を行います。



市民教育厚生委員会

【委員長】塩塚敏郎
【副委員長】島野知洋
桑原誠、光田茂、山田修司、平嶋慶二、平山光子、崎山恵子

市民協働部、教育委員会、保健福祉部、福祉事務所の所管に関する事項の審査・調査を行います。



都市環境経済委員会

【委員長】森竜子
【副委員長】三宅智加子
江上しほり、城後徳太郎、山口雅夫、大野哲也、古庄和秀、山田貴正

都市整備部、企業局、環境部、産業経済部、農業委員会事務局の所管に関する事項の審査・調査を行います。

市民に開かれた議会を目指して

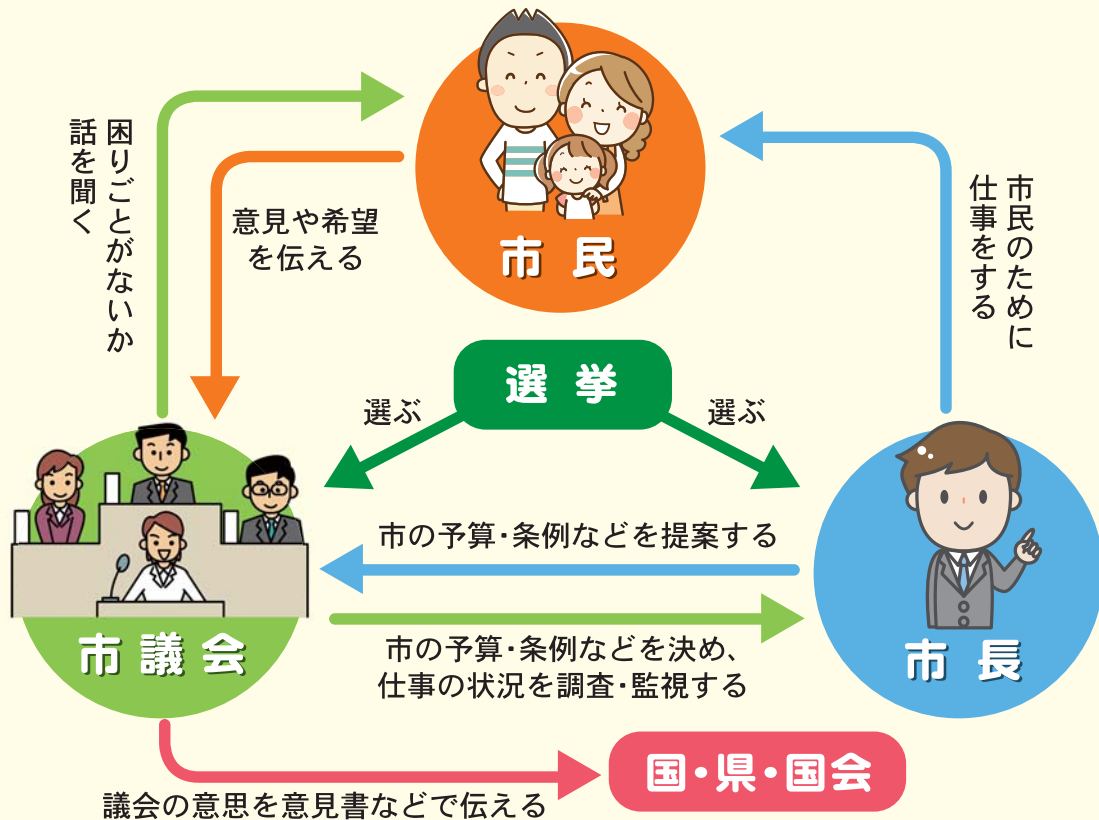
大牟田市議会では、議会改革を進めるべく平成23年に「大牟田市議会基本条例」を施行し、令和2年度で10年という節目を迎えました。この間、議会改革特別委員会を中心に議論を重ね、議会報告会による市民意見の聴取や研修会等による自己研鑽に努めるとともに、会派を超えた議員間の議論を重ね合意形成に努め、議会運営を図ってきました。

結果的には、2020年度の早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査でも、全国の議会のうち、調査に回答した1,404議会中110位(九州では7位、過去において100位以内で推移)のランク付けとなっています。順位にこだわるわけではありませんが、大牟田市議会の様々な取組を評価いただいたものと考えています。

今後も、二元代表制のもと、議員の自己研鑽を図りながら行政監視機能や政策形成機能を高め、幅広い市民の多様な声を市政に反映できるよう議会機能の強化に努めていきます。

市議会の役割と仕組みを紹介します

市議会は、市民生活に密接に関係する市の予算や条例などについて話し合い、市長が執行する行政サービスへ市民の声を反映させながら決めていく機関です。



執行機関である市長も、議会を構成する議員も、ともに地方自治の主役である市民から選挙によって、市民の代表者として選ばれ、それぞれ独立・対等な立場で市の発展のために活動しています。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■新型コロナウイルス感染症対策への対応

【臨時会】

臨時会は、5月21日に招集され、1日間の会期で運営しました。

臨時会では、専決処分の議案3件を全て全会一致で承認しました。

また、各委員会の構成変更、正副委員長等の選出等を行い、最後に、境公司前議長及び大野哲也前副議長の辞職に伴い、正副議長選挙を行い、新たに光田茂議長、森田義孝副議長を選出しました。

■大牟田市一般会計補正予算などを可決

【6月議会】

6月議会は、6月14日に招集され、6月25日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、一般会計補正予算などの予算議案4件、大牟田市個人情報保護条例の一部改正などの条例議案8件、財産の取得に係る議案2件、市道路線の認定及び廃止に係る議案1件、監査委員会委員の選任に係る人事案件1件、意見書案の11件及び予算の繰越しなどの報告7件の計34件でした。

本会議では、新型コロナウイルスに係る対策、令和2年7月豪雨災害を踏まえた災害対策、夜間中学の推進、市庁舎整備など諸課題について、11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議8件を除いた議案、発議をそれぞれ承認、可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌(4月～6月)

【4月】

- 12日 広報広聴委員会広報部会
- 15日 各派代表者会、総務委員会
- 26日 各派代表者会
- 27日 都市環境経済委員会
- 30日 各派代表者会、広報広聴委員会広聴部会

【5月】

- 6日 各派代表者会
- 7日 各派代表者会
- 10日 各派代表者会
- 14日 各派代表者会、議会運営委員会
- 21日 第1回臨時会本会議、議会運営委員会、総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会

【6月】

- 7日 各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会、広報広聴委員会広聴部会
- 11日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 14日 各派代表者会、議会運営委員会、広報広聴委員会広報部会、第2回定例会本会議(開会、採決)
- 18日 第2回定例会本会議(質疑質問)
- 21日 第2回定例会本会議(質疑質問)、議会運営委員会
- 22日 第2回定例会本会議(質疑質問)、請願等調整委員会
- 23日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会広聴部会
- 25日 各派代表者会、議会運営委員会、市民教育厚生委員会、広報広聴委員会広報部会、第2回定例会本会議(採決、閉会)
- 29日 総務委員会

委員会メモ

公民連携による庁舎整備の実現可能性調査(中間報告)

【総務委員会】

6月7日の委員会で、財政負担の軽減が期待できる公民連携による庁舎整備の実現可能性を把握するため、業務実績がある事業者及び公募による事業者に対して行った聞き取り調査の中間報告を受けました。

この聞き取り調査を踏まえ、今後はPFIを初めとした民間活力導入の可能性調査が実施される予定です。

第4次おおむた男女共同参画プラン(仮称)の策定

【市民教育厚生委員会】

6月11日の委員会で、令和4年度に「第4次おおむた男女共同参画プラン(仮称)」を策定予定である旨の説明を受けました。

計画期間は令和5年度から令和9年度の5年間で、今後、市民意識調査や市内事業所調査等の各種調査、パブリックコメントを実施し、男女共同参画審議会の答申を経て策定される予定です。

白川ポンプ場建設工事

【都市環境経済委員会】

6月11日の委員会で、平成29年より工事を進めてきた白川ポンプ場の工事がほぼ完了し、稼働日を本年6月1日とする旨の説明を受けました。

また、地元の要望を受けて、愛称を「堂面川ポンプ場」とすることについても併せて説明を受けました。

議案等の審議結果

議案等名	議員名	会派等名										公明党議員団					民主・護憲クラブ				無所属			賛成数	審議結果		
		自民・未来クラブ										山口雅夫	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	北岡あや	崎山恵子			山田貴正	
6月議会	発議第1号	国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×													×	×		×
	発議第2号	新型コロナウイルスワクチンの安心・安全、円滑な接種の促進を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第3号	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催について、国民の命と暮らしを優先し政府に慎重な判断を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第4号	入管行政による人権侵害の是正等を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第5号	一定年収以上の後期高齢者の医療費窓口負担割合引上げの撤回等を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第6号	東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第7号	沖縄戦没者の遺骨を含む土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第8号	幅広い市民が監視対象になる重要土地等調査法(土地利用規制法)の撤回を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
	発議第9号	教職員定数改善と教育予算の拡充を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	12	多数可決	
	発議第10号	地方財政の充実・強化を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	12	多数可決	
	発議第11号	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第7号	大牟田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第8号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第11号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第14号	大牟田市市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意

臨時会	議案第1号	専決処分について(令和2年度大牟田市一般会計補正予算)
	議案第2号	専決処分について(令和3年度大牟田市一般会計補正予算)
	議案第3号	専決処分について(大牟田市市税条例の一部を改正する条例)
6月議会	議案第4号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第5号	令和3年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
	議案第6号	令和3年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
	議案第9号	大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案第10号	大牟田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第12号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第13号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第15号	市道路線の認定及び廃止について
	議案第16号	財産の取得について(小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型))
	議案第17号	財産の取得について((仮称)新大牟田駅南側産業団地用地)
	議案第18号	大牟田市監査委員の選任について(平山伸二議員)
	議案第19号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算

※議案第17号については、境公司議員を除く(除斥) ※議案第18号については、平山伸二議員を除く(除斥)

代表質問

人と人の絆を深めて、災害とコロナに負けない安心安全な大牟田を築いていく



動画視聴



公明党議員団
大野 哲也 議員

災害からの復興・復旧と災害に強いまちづくりの進捗は

問 市長の復旧・復興に対する思いと決意を聞きたい。

答 現在、災害復旧事業・今後の浸水対策・生活再建に向けた総合的な支援等を行っているところ。引き続き、市職員一丸となって被災された皆様の支援とまちの復旧・復興に全力を挙げていきたい。

問 防災・復興担当部長としての決意と方針を聞きたい。

答 復旧・復興を進める方針として、被災者に寄り添うことと多様な主体と連携していくことを念頭に置き、甚大な被害を受けたふるさと大牟田が、災害前に戻るだけでなく、それ以上に復興し、市民や地域が元気になれるよう全力で取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症対策を万全に

問 ワクチン接種の現在の状況について聞きたい。

答 高齢者のワクチン接種については、県南で最も早く高齢者施設の入所者を対象に接種を開始し、それ以外の高齢

者についても集団接種、医療機関での個別接種を開始している。

6月20日までの予約分を含むと、対象となる高齢者の約3割の方

が1回目の接種を終える予定。

今後さらに接種を加速していくため、医療機関の個別接種の予約を約1.7倍に増やすとともに、6月4日には65歳以上の高齢者全てに接種券を送付したところ。さらに、7月4日からは、市内の集団接種会場を小中学校から文化会館に変更して接種枠の拡大も図ることとしている。加えて、県の広域接種センターの活用も図りながら、高齢者のワクチン接種の加速化を図り、今後も接種を希望する方が安心して円滑に接種できるよう、取組を進めたいと考えている。



問 市長が自ら接種して安全性を発信してはどうか。

答 私自身が自ら接種し、ワクチンの安全性について発信し、危機管理の観点からも接種をしていくことが重要だという貴重な御意見をいただい

たので、市議会が終了した後速やかに接種することを検討したい。

問 今後の優先接種の取組について、市の考えを聞きたい。

答 高齢者向けの接種のめどが立った以降には、基礎疾患を有する方々の優先接種を進める予定。

また、施設以外の高齢者介護等の従事者や、ワクチン接種ができない子供たちに接する機会が多い保育士や幼稚園教諭、小中特別支援学校の教諭等を優先接種の対象とすることについて検討している。

公立夜間中学の 早急な設置の推進を

問 公立中学校夜間学級推進事業の進捗状況を聞きたい。

答 夜間中学の推進に向けては、①先進校視察、②大学の先生を招いての教育委員会事務局研修会の開催、③学校再編の地域説明会において、各校区まちづくり協議会等やPTAに対しての周知、④夜間中学校設置校区となる大正校区まちづくり協議会において説明会を開催、⑤松原中学校教職員に対し研修会を開催等してきた。

今後、県教育委員会との協議も重ね、大学の専門家を招き、市民への講演会・説明会を開催するなど周知を図り、さらには夜間中学の入学希望者に適切な教育内容を提供できるように、ニーズ調査等を行い、丁寧に準備をした上で取組を進めていきたい。

コロナ禍と令和2年7月豪雨から1年を迎える中での防災・減災のまちづくり



市長の政治姿勢

問 4月より高井良優里副市長、谷本理佐教育長が就任された。女性の視点に立ったまちづくりへの市長の考えは。

答 男女が自らの意思に基づき個性と能力を発揮し、様々な場面で活躍できる環境づくりが重要と考えている。令和4年度策定予定の男女共同参画プランでは、新型コロナウイルスの影響や防災・減災における男女共同参画という新しい視点を盛り込む予定。このように女性の視点を十分踏まえたまちづくりを進めたい。

問 昨年の7月豪雨以降の市職員の時間外勤務も含め労働環境を総括し、事前に準備・対応すべきだが、市の考えは。

答 長期にわたる避難所設置、罹災証明発行や災害復旧への取組など、例年を大きく上回る時間外勤務が発生した。

災害時は一定の時間外勤務は避けられないため、各分野からの支援体制を整備し、災害対応を行うとともに、できる限り災害時における職員の負担軽減に取り組んでいる。

令和3年6月13日までの総出動件数は111件で、特に本年4月、5月で100件出動した。本来の救急活動への影響を極力抑えるため、特設の救急隊を中心に対応してきた。課題は、①連続出動とならないような勤務の調整が必要になった点、②搬送依頼が多数重なる日には、常設の救急隊も対応せざるを得ず救急隊の数が減った時間帯があった点の2点。

問 コロナ禍や豪雨の経験から早く正確な情報が求められるが、市民の情報格差解消の取組状況と今後の課題は。

答 広報紙等の情報発信に加え、公式LINE、テレビのdボタン広報誌の運用を開始した。課題は、多くの人情報入手の手法を知り、実際に活用することだと考えている。

再発言 高齢者が多く、聞こえづらさなどによる災害時の情報格差への対応も検討を。

新型コロナウイルス感染症への対応

問 ワクチン接種の進捗及び予約状況と今後の課題は。

答 高齢者の接種については、施設の入所者から接種を開始

し、6月20日までに対象者の約3割が1回目の接種を終えると推計。現時点での予約はほぼ埋まっている状況。今後、予約から接種までを安全かつ円滑に進め、7月中の接種完了を目指すことが課題。

問 ワクチン接種券の送付と接種状況を広く、新聞等で定期的にお知らせしてはどうか。

答 接種券の発送は様々な手段で周知している。接種の実績は、随時お知らせしたい。

問 コロナ禍による厳しさが1年以上続くが、市内企業の現況に関する認識と対応について聞きたい。

答 地域経済は引き続き厳しい状況にあると認識している。そのため、市として国・県が支給する月次支援金への独自の上乗せ支援等を実施する。



令和2年7月豪雨から1年を迎える中でのこれからの防災・減災

問 災害後の心のケア等の対応がこれから必要だが、考えを聞きたい。

答 地域支え合いセンターには、元精神科病院看護師の生活支援相談員が在籍しており、個別訪問やカンファレンスを行っている。今後も、一日も早く被災者の方が普通の暮らしに戻れるように支援したい。

代表質問

7月豪雨から学んだ、より具体的な排水対策基本計画の策定を



動画視聴



自民・未来クラブ
徳永 春男 議員

7月豪雨の教訓を踏まえた
防災・減災の取組

問 排水対策基本計画作成に当たり、計画書の基礎となる解析モデル構築、資料収集、現地踏査は、どのような体制で取り組まれるのか。

答 関係機関から取得した資料を基に現地の状況を把握し、コンサルタントのみに任せるのではなく、副市長を筆頭に関係部局で構成する庁内連絡協議会メンバーと県営河川管理者である県も現地踏査に同席し、十分な調査を行う。

また、業務委託の検討項目の進捗状況も把握し、検討内容の過程や結果をチェックして計画を策定していきたい。

問 基本的には、地形的条件、河川の長さ、幅、施設(水門・堰)、流域面積等の実態に関する資料をコンサルタントと共有することが重要では。

答 データ収集には、コンサルタントに任せる部分、関係機関、県、庁内の関係部局で行う部分とあり、それらを取りまとめながら進めていく。

問 ため池の現状を調べ、排水計画に生かすべきでは。

答 そう思っており、ため池は出水期前には低水位で管理するよう取り組みたい。

問 主要河川に水位計を設置して実証実験が行われているが、検証の結果、浸水災害対策に有効であると判断された場合は継続するのか。

答 結果を踏まえ検討したい。

今後の行財政改革の方向性

問 行財政改革の方向性と狙いは。

答 スクラップ・アンド・ビルドを基本に事業選択に取り組み、少数職員でも効率的な行政運営ができる業務のやり方そのものの見直し、AI・ICTの積極的な活用、民間活力の導入等を検討し、職員が改善効果を実感しつつ、次なる改善へつなげていきたい。

そして、令和4年度の予算に反映できるよう早い段階での意思決定を行い、着実に実施していきたい。

校区まちづくり交付金の
自由選択メニュー事業
への期待

問 昨年度から校区まちづくり交付金の自由選択メニュー事業が市民協働部予算で実施されているが、今後は施策事業を提案した管轄部署の予算で実施するべきと考えるが。

答 市民協働部が主体となり

各部局に対してメニューの提案を働きかけ、予算も市民協働部で計上したが、自立期にふさわしい交付金の在り方も検討していきたい。

問 自由選択部分の予算は。

答 今年度は158万5千円。

問 その予算では今後多少増額しても、各部署から提案が出たときなど、交付金の限度額以内では発展が望めない。よって、費用対効果の面からも、積極的に管轄部署で予算計上して取り組むべきでは。

答 今後、自由選択メニュー事業の効果を検証したい。

(仮称)地域住民等参加型
直営施工制度の提案

問 資機材を市が負担し、施工は地域住民で行うという(仮称)地域住民等参加型直営施工制度を提案したい。

工事は小規模に限るもので、他の自治体でも実施されているが市の考えは。

答 農道、法定外水路、里道等の公共施設について、修繕や管理の一部を地域住民に担ってもらう制度は、工事のコストの縮減や農家負担の軽減等に効果があり、先進自治体の調査等を行い検討したい。



【地域住民による共同施工状況】

一般質問



学童保育所・クラブの充実

問 学童保育所・クラブの待機児童の解消等の取組状況は。

答 待機児童ゼロに向けたパッケージを策定しており、処

遇の改善等による支援員の確保、既存施設での受入拡大や預かり時間の延長等を行う。

再発言 女性が働き続けられる環境整備をお願いしたい。

教育環境の整備

問 小中学校等にウオータークーラー（冷水機）の設置を。

答 中学校には1、2基設置しており、小学校・特別支援学校には設置していない。

再発言 手軽で安心な熱中症予防効果の高いウオーターク

ーラーの設置を検討されたい。

白川排水区の浸水対策

問 白川排水区整備事業の進捗状況は。

答 第1期計画は大黒町、下白川町、中白川町、城町等の約80ヘクタールを対象として整備を進めており、白川ポンプ場は本体工事が完了し、6月1日から稼働させている。

再発言 第2期計画は地域の意見要望を聞いて取り組んでもらいたい。



教職員の働き方改革
教育委員会の本気度は

問 教職員の働き方改革について、昨年度の進捗状況は。

答 超過勤務時間の月平均は、小学校で約55時間、中学・特

別支援学校で約48時間。年間360時間超えは小・中・特別支援学校全体で417人。超過勤務時間の前年同月比10%削減達成率は学校全体で43%である。

再発言 「人が増えるか仕事が減らなければ変わらない」というのが現場の声。行事・業務の見直しをしっかりと。

コロナ禍での人権への配慮

問 差別や誹謗中傷が感染への不安をあおり、差別を恐れて受診や情報提供をためらい、

感染拡大につながる。本市では児童生徒や教職員が感染した際、学校名を公表しており、それがさらなる学校からの公表につながり、関係者が苦しまれる事例もあった。県内ほとんどの自治体が公表しない中、公表する理由は。

答 市民に事実を伝えることで、憶測による不安や混乱を招かないように公表している。

再発言 情報の拡散が人権侵害につながることを啓発し、意識を変えるのが自治体の責務。人権に配慮した対応を。



女性農業者の活躍推進について

問 農業経営者でなければ認定農業者になれないため、認定農業者数は女性の経営上の地位を見る上で重要な指標で

あり、2020年の国の認定総数に占める女性の割合は5%。女性が農業において活躍するためには、地域の農業界にいる男性の理解、すなわち能力と意欲のある女性が活躍することを阻もうとせず、後押ししてくれる考え方を持つ男性の存在が必要。農業経営への女性の参画推進など、女性農業者の地位向上にどのように取り組んできたのか、今後どのような取組を行うのか。

答 食育活動の視点からも、女性農業者グループによる料

理教室などに取り組んできた。今後、このような取組を含め、そういった活動を推進したい。

再発言 女性農業者とその能力を十分に発揮して活躍でき、農業が女性にとって魅力ある職業として選択されるよう、女性農業者の活躍推進に向け、女性の農業委員・農地利用最適化推進委員の登用、女性農業者のネットワークづくり、女性が働きやすい環境整備、女性農業者のスキルアップ支援など、様々な角度からしっかりと支援を求める。

一般質問



公民連携による庁舎整備の
実現可能性調査に係る
中間報告と今後の展開

問 今回の庁舎整備の実現可能性調査から分かったことは。

答 本館の利活用は、床面積が大きく全体の活用が難しい

ことや、多額の改修費用が想定されるとの懸念が示された。

事業スキームは、民間の独立採算は難しく、市が必要な改修を行い、運営面で一定の支援も必要等の意見があった。

庁舎整備事業に対しては、本館の利活用と別事業がよいという意見や、一体的な事業がよいという意見等があった。

問 今年度中に庁舎整備の方向性を示される予定だが、民間活力導入の可能性調査の実施時期が未定であると考えれば猶予はない。市長の見解は。

答 調査では、条件次第で事業参画の可能性があると意見もあり、次のステップであるPFI等による調査でより深く実現可能性を探りたい。

事業者による検討期間や、その意見を踏まえ、市も検討期間が必要だが、コロナ禍の影響や災害からの復旧・復興事業の実施もあり、今後のスケジュールは改めて示したい。

再発言 下手に急いで他の選択肢を見落とし、判断を誤るくらいなら、スケジュールの後ろ倒しもやむなしと思う。



排水対策基本計画を2年
かけて策定予定だが、今年、
来年の水害への備えを

問 全市域に排水対策の課題はあるが、一例として、歴木中周辺の浸水対策への考えは。

答 短期的には、水路、側溝

のしゅんせつ、三田堤・小野堤の水位管理に加え、大雨時に堂面川沿いの水路に臨時の仮設ポンプを設置し、浸水被害の軽減に努める。

再発言 抜本的、長期的に進めることのほかに、少しでも浸水高を下げる工夫等を考え、一日でも早く実行されたい。

県全体からの視点と
これまでの経験・人脈を活用し、
教育施策の大きな前進を

問 谷本新教育長の大牟田の教育についての認識と、御自身の役割についての考えは。

答 本市では、ESDなどの特色ある教育を展開しているが、加えて基礎学力の確実な定着が必要であり、日々の授業改善や学校の組織マネジメントの向上などに取り組む。

問 小中一貫校ができたが、これまでの小中一貫教育の推進から何が進むのか。

答 学習内容と学習方法をつなぐこと、子供たちの心をつなぐことの二つの点がある。その一番のキーワードは教職員の意識改革で、学力向上やギャップの解消が期待できる。



昨年の豪雨を踏まえた
災害対策

問 テレビの配置を含めた今後の避難所における情報提供の方法は。

答 自主避難所では既設のテ

レビを活用しているが、引き続き、避難者への速やかな情報提供に努めながら、必要に応じ、視聴環境の整備も検討していきたい。

また、今年より各避難所にタブレット端末を配備したことで情報の一斉伝達が可能となったため、これまで以上に避難者への情報提供が円滑になると考えている。

問 昨年の豪雨災害時において、ボランティア団体との情報共有が不十分だったことから、市と社会福祉協議会との

協定の見直しが必要では。

答 御指摘の課題を含め、関係先と協議を行っていく。

問 6月1日より防災専用ホームページの運用を開始されているが、内容と周知方法は。

答 リアルタイムで浸水などの状況を画像で確認できるよう構築した。

平時には広報おおむたやホームページで、災害時には愛情ねっと、LINE、FMたんと等で周知を図っていく。

再発言 災害時の避難等に役立つよう十分周知してほしい。

一般質問



動画視聴

無所属
北岡 あや 議員

事業所支援の拡充を

問 新型コロナウイルス感染症の影響で市内事業所の経営が大変厳しい状況にある中、市の支援として具体策は。

答 国・県の月次支援金に、市として上乘せをしていく。

市の支援制度に関する相談対応はもとより、国・県の月次支援金の相談にも対応し、国への申請に必要なID登録や事前確認も市の窓口で対応できるように検討する。

問 国・県の支援の対象外となる多くの事業所も経営が逼迫している。支援の考えは。

答 現在、事業者に対して現況調査を実施している。7月末には取りまとめをし、今後の支援策に反映していきたい。

再発言 業種によっては、少しの収益減で経営が成り立たなくなる。そういう事業者への直接の支援を求める。

入院されている方にも、ワクチン接種できる体制を

問 入院されている方がその病院でワクチンを接種・予約ができない状況が発生している。この状況への対策は。

答 今後、基礎疾患のある方の優先接種を行うため、それぞれの医療機関に相談いただき必要に応じ市も対応したい。



動画視聴

無所属
山田 貴正 議員

農林漁業の
シティプロモーション

問 県の新たな移住支援政策の支援対象に農林漁業が追加された。今後、農業を生かした移住促進策の検討状況は。

答 新規就農者に対し、就農初期の収入不安定期を支える生活支援金の給付、さらに今年度より新規就農アドバイザー事業、農地確保の支援、農業用機械の導入等の支援策を創設している。これらの支援策の情報を発信し、農業を生かした移住促進につなげたい。

有害鳥獣対策の可能性

問 有害鳥獣駆除後の個体の有効活用として、有明圏域定住自立圏で連携し獣肉処理加

工施設の整備を行う可能性は。

答 広域的に取り組む上で、施設設置場所、整備費負担、運営方法等の多くの課題が想定される。機会を捉え各市町との意見交換等を行いたい。

文化芸術活動の支援

問 災害とコロナに負けない文化のチカラ事業費補助金の申請期間の延長はあるのか。

答 8月1日から再度募集を行う。多くの方が文化芸術に触れる機会をつくりたい。

インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。



【コロナ対策のため間隔を空けた傍聴席】

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで9月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。

■スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。パソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレット等からも視聴できます。どうぞご利用ください。



おおむた自慢

三川坑跡に新しいアトラクションが登場 セグウェイゴーカートに乗ってみよう！



新型コロナウイルス感染症の影響を受け来場者数が激減した三川坑に賑わいを取り戻そうと、4月29日より『セグウェイゴーカート体験』が始まりました。歴史ある建造物や炭坑電車を背に、緑に囲まれ海風を感じながら、一味違ったエキサイティングな体験をしてみませんか？

お子様には、ヘルメットと肘あて・膝あての貸出しがあります。説明を受けたら、すぐに運転できるようになります。地面も芝生なので安心感があります。



セグウェイゴーカート (Segway-Ninebot Gorkart)

電動(バッテリー)で動くゴーカートで、主な操作はハンドルとアクセルペダルのみ。直感的で簡単に運転できるので、お子様から大人までどなたでも楽しめます。車体は、乗車される方の体形に合わせて、座席からペダルまでの長さを伸縮して調整できます。最高速度が時速8キロに制限されているので、スピードが出過ぎることはなく、お子様でも安心して乗車できます。



今回お話を伺ったのは...



NPO法人三池港未来のまちづくり会
理事長 入江裕二郎さん

三川坑では、来場者の皆様、特にお子様が丸一日楽しめる場所になるようにと、体験活動等を行うための施設整備など、色々な計画をされています。

今回のセグウェイゴーカートもその一環。その他、ピザ焼き体験ができるようピザ窯を製作したり、ゆくゆくは果実の収穫体験ができるよう敷地内に柿やスモモなどの木を植え、果樹園も作られています。

楽しく遊んで、歴史も学べる施設を目指しているとのこと。

ピザ窯ができました！



今後ピザ焼き体験なども予定されています！

三川坑セグウェイゴーカート体験

5分間 大人500円／小人(8歳以上)300円

※8歳未満は大人と一緒に乗車可

【お問い合わせ先】三池港未来のまちづくり会 ☎090-2393-9512

※天候等により乗車できないこともあるため、事前にご確認ください。

三川坑跡 公開時間(土日祝のみ)

4～11月 10:00～17:00
(最終入場は16:30まで)

12～3月 10:00～16:30
(最終入場は16:00まで)

入場
無料

編集後記

令和2年7月豪雨から1年が経過しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心から祈念します。この1年、本市は行政も議会も多くの経験をしました。そして議会は5月から正副議長、各委員会も一新し、この間の経験を生かして頑張っています。(H)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】徳永春男 【副委員長】平嶋慶二

【委員】境公司 塩塚敏郎 平山伸二 山田貴正

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所